

農山漁村と都市が共生する社会の実現に向け、着実な前進を期待

衆議院議長 大島 理森

本日、全国町村長大会が開催されるに当たり、一言ご挨拶を申し上げます。

まず、新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになった方々とそのご家族に深く哀悼の意を表しますとともに、各地で未曾有の感染症対策の重責を担い、感染拡大の防止に懸命に取り組んでおられる地方自治体の皆様をはじめとする関係者の方々に対し、心から謝意を表します。そのような中であって、多発する自然災害への対策など、日夜、困難な対応に尽瘁され、住民の命や生活を守るため、常に先頭に立って課題の解決に奮闘されている町村長の皆様に改めて敬意を表します。

ご承知のとおり、今日、我が国では少子高齢化や人口減少が進展しております。町村においては、この問題と長年向き合い、従来から、地域に関わる人々を増やす様々な取組を進められているものと存じます。そうした中、今般の新型コロナウイルス感染症の流行によって都市への人口集中の弊害が顕在化したことや、リモートワークの普及などがみられたことは、今後の地方と都市の関係の在り方を考える上で、多くの重要な示唆を与えているものであると存じます。このような困難な状況の中ではありますが、地域に住む人々の活力や農山漁村の有する多面的な価値を活用したまちづくり、そして、農山漁村と都市が共生する社会の実現に向け、着実な前進が図られていくことを期待しております。

衆議院といたしましても、関係委員会等における議論や調査を通じ、町村における活力に満ちた地域の創生を後押しできるよう、引き続き注力してまいります。

結びに、本大会のご成功とご列席の皆様方のますますのご活躍とご健勝をお祈りして、ご挨拶といたします。